

平成28年度第3回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成28年11月1日（火）

（昼の部）午後2時～午後3時55分

区役所 別館6階A会議室

- 1 開会
- 2 講師紹介 広報課長
- 3 テーマ
「2020年に向けた中央区の取組」（オリンピック・パラリンピック調整担当課長）
- 4 意見・質問

意見 先日の中央区福祉まつり2016に行ったが、会場では、ただポスターが貼ってあっただけだった。また、本日の説明では高齢者に関する取り組みが語られていなかった。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）を機に、区の掲げる「心のバリアフリー推進」を積極的かつ具体的に進めてほしい。東京2020大会は本当にいいチャンスだと思う。

オリンピック・パラリンピック調整担当課長（以下「課長」という。） 「心のバリアフリーの推進」の具体策は、さまざまな角度から考えられる。パラリンピック開催を機に、障害者スポーツへの理解を促進し、身近なものと感じてもらえるように、大人・子どもを問わず健常者にも競技を楽しんでもらえるようにするため、障害者スポーツの指導員の育成も必要であると考えている。一例ではあるが、健常者と障害のある方の垣根を取り払っていきたい。

高齢者についても同様で、高齢者スポーツの普及に努めるとともに、東京2020大会開催中は、ただテレビで見るだけではなく、多くの高齢者に会場に足を運んでもらえるようにしたい。

意見 国内・海外から東京2020大会を見に来る人は多いだろうが、当然、その中には、高齢者を含む家族連れで来る人もいるだろう。しかし、真夏の炎天下、若い夫婦や子どもたちと一緒に高齢者が行動できないことも考えられる。そういう場合、区の高齢者施設で、例えば日本の文化を紹介するイベントを行い、高齢な観光客を誘えば、ゆったりと高齢者同士の交流も図られる。何かこのようなイベントを考えていただきたい。

課長 区としても、今後、都や組織委員会で検討される各種取り組みの中で、ご意見のようなイベントができるといいと思っている。

質問 東京2020大会終了後、選手村のあったエリアには、高齢者施設・障害者施設はできるのか。

課長 障害者施設は、障害のある方だけの施設というものは選手村のエリアの中で

は検討されていないが、高齢者施設については住宅棟の一部をサービス付高齢者住宅と考えられている。いずれにせよ、選手村跡の利用の検討は今後、本格化していく。

意見 事前にいただいた東京2020大会後の選手村イメージ図だけでは、あまりはっきりしなかったが、本日の説明で、ある程度、イメージができ、話を聞いてよかった。このように説明をすれば、区民の多くも東京2020大会後のまちづくりにイメージを持ちやすくなり、意見も出てくるだろうから、広報などでしっかり伝えてほしい。ちなみに個人的には、隣接区を含めると総合病院はたくさんあるが、区内の総合病院は聖路加だけというのは少し心配だ。今後のまちづくりの際、検討してほしい。

課長 事前にお送りしたイメージ図は、真ん中を通る広い通りなど現在の晴海地区の方々と話し合い、地域・区の要望を都に投げかけた結果のものだ。病院の整備はさまざまな制約もあり難しいところであるが、今後も地域の声を聞きながら、まちづくりを進めていきたい。

意見 選手村から歩いて5分の場所に住んでいる。本日の説明を聞き、4年後がとても楽しみになった。

意見 選手村ができる晴海地区に注目が集まっているが、他の地区にも、バス路線の充実を行うなど、目を配ってもらいたい。

意見 BRTを走らせるということだが、勝どき周辺は今でさえ交通渋滞が激しいのに、BRTを走らせた結果、さらにひどくならないか心配だ。

意見 区内には放置自転車が多くの景観を害しているとともに、歩行者に、特に障害のある方には大きな脅威となっている。例えば銀座地区を、できれば常時、少なくとも東京2020大会期間中は自転車乗入禁止にしてはどうか。また今から、放置自転車の撤去、歩道を暴走する自転車への取り締まりを強化してほしい。

課長 放置自転車については、現在も区としては精いっぱい取り組んでいるところだが、やはり人口増加に伴い、どうしても放置自転車が多くなってしまっている。今後も引き続き、駐輪場の増設などをして対応していきたい。

意見 まちづくりに関して思うのは、最近、江東区豊洲の繁栄に比べて晴海アイランドトリトンスクエアは寂しいなど感じる。トリトンスクエア周辺に、江東区豊洲のようにショッピングモールなどをつくり、再活性化してはどうか。

課長 晴海地区の方々とまちづくりに関して話し合ったとき、地区の方々は、豊洲にあるような大型の商業施設は要らない。車で行くのではなく、日常の買い物ができる生活感あるまちづくりをしたいということだった。このようなまちづ

くりをすれば、住む人も増え、必然的にカフェやショップなどの店も進出し、にぎわいを得られると考えている。トリトンスクエアも、晴海地区に住民が増えれば、来客が増えるのではないかと思う。

意見 私も高齢者なので、大きい特別養護老人ホームをつくってもらいたいと思う。

意見 外国人観光客への対応として外国語研修を行い、ボランティアを充実させようと区は考えておられるようだが、ボランティアといった特定の人たちだけではなく、やはり区民の一人一人が最低限の道案内をできるようにする環境を整えることが大切だと思う。外国人観光客も一般の区民からの親切なふれあいを心から喜ぶだろう。そこで、以下の4点を提言したい。

① 道案内のときに想定される典型的な会話例を載せたパンフレットを作成し、区役所窓口に配置するとともに、町内会やマンション管理組合、商工業者の団体、中学校などを通じて、広く区民に行き渡るようにする。

② ①で作成したパンフレットを教材に、一般区民向けに、短時間で簡単な英会話教室を、もっと多くの回数・場所で開催する。

③ 中学校の英語の授業の最初の10～15分、通常の勉強に支障を来さない程度に、やはり①のパンフレットを使って学習する。

④ 外国人観光客と触れ合う機会が多い商工業者向けの英会話教室を行う。

課長 ご指摘のように、一般の区民の方々も親切に対応できることが必要だと考えている。現在、都や組織委員会も外国語ボランティアの充実を検討していて、今後、その展開が明らかになると思うが、区としても考えていきたい。

意見 本日は、やはり東京2020大会後の晴海地区中心の説明になっていたが、防犯や自転車問題は区全体の問題なので、その視点を忘れないでほしい。

課長 例えば道路案内標識の統一化など、区全体で取り組むべき課題にも対応していく。

意見 選手村跡地には高層住宅を建設し、1万2千人も新たな住民を受け入れるとのことだが、ただでさえ人口増が続く本区において、そこまでして人口を増やす必要があるか疑問だ。

意見 BRTを走らせ、大量輸送を図るとのことだが、それに見合うだけの橋や道路などのインフラ整備も考えなければいけないと思う。地下鉄新路線ができるまでの間、交通の便が悪く、晴海地区に新たにきた人たちも困ってしまうと思う。そうしたら、晴海地区に大型商業施設をという声も上がってくるだろう。将来を見据え、もう少しきめ細かく住民の声を聞いていただきたい。

課長 築地市場を抜ける環状2号線は相当大きな通りになるので、これが全線開通すれば相当な輸送量が確保できると考えている。

意見 区長などがロンドンやパリにオリンピックに関する視察に行った報告書をホームページで拝見したが、何が参考になったのか、もう少しはっきり書いてほ

しかった。また海外だけではなく、長野といった国内にも参考になる都市があるので、その辺からもしっかり学んでほしい。

課長 視察の個別具体的な事項は課題ごとに整理している。また、長野からも、いろいろな情報を頂き参考にしている。

質問 コミュニティサイクル試行の検証スケジュールを教えてください。住民は自転車を持っている人が結構多くて、コミュニティサイクルの利用実態を見ると、何か来街者の方々へのサービスにしか思えない。

課長 コミュニティサイクルの所管ではないので、詳しいスケジュールについては分からない。ただ、コミュニティサイクルの目的には、もちろん来街者へのサービスもあるが、加えて、住民の方々もわざわざ自転車を持たなくてもシェアリングにより自由に利用にできるようにして、区全体として自転車の数を減らしていき、放置自転車の問題の緩和を図るということもある。

質問 東京2020大会に向けてだけではなく、現時点でも外国人観光客2千万人時代を迎え、民泊が問題になっているが、区は民泊に関して、どのような規制を考えているか。

課長 民泊に関しては、保健所が管轄している。国や都が大枠を決めつつ、各自治体がその中で条例を決めて対応している。23区では大田区などでは積極的だが、本区はあまり積極的ではない。本区の場合、マンション住まいが多く、セキュリティの問題もあり、民泊に住民の方は不安を抱くと思っている。今後、住民の住居空間の安全性確保という観点を基本に、この問題には取り組んでいきたい。

質問 東京2020大会後の人口増に向けて、新学校の開設や既存学校の改築を行うと説明されたが、具体的な内容は。

課長 現在、月島第三小学校を増築している。選手村に関係する小学校の新設については、その規模など、具体的な話は今後検討していくことになる。

質問 環状2号線ができたあかつきにはBRT専用車線ができるのか。

課長 都の事業ではあるがBRTの定期性・速達性の確保の観点からも、環状2号線に車線を設けて運行されると聞いている。

意見 地下鉄の新路線開設に区は積極的だが、個人的には、環境問題の点、また工期および工事費用・維持費用の点、そして今後、成熟都市東京として持続発展可能な成長をしていくという点からも東京が目指すライフスタイルと隔たっており疑問を持つ。

課長 ご意見として承っておきたい。

意見 東京2020大会を訪れる観光客をもてなすためにも、日本の、東京の、中央区の食文化を紹介できればいいと思う。特に中央区には和食だけではなく洋

食も名店があり、多様な食文化でおもてなしできると思う。

課長 和食はユネスコ無形文化財に登録されている。ご提言のとおり、区が整備した築地魚河岸の活用や月島のもんじゃなど、中央区ならではの食文化を紹介できるように地域の方々と協力して取り組んでいきたい。

意見 外国語会話の一般区民向け講座を行うなら、早めに広報し、取り組んでいただきたい。

意見 東京2020大会後、選手村跡地には、1万2千人の人口増を見込み住宅を分譲などで考えているそうだが、全部売れるのか疑問である。この地域は意外と不便だし、分譲・賃貸価格も高騰すると思っているからだ。

課長 かつてのニュータウンが現在、高齢化を迎え、地域として多くの課題を抱えていることを参考に、晴海地区については、将来の街の姿も考え、継続的ににぎわうように検討している。その一つとして、地域に根づいて生活していく人向けの分譲、若い世代向けの賃貸など、これらのバランスのあり方も大切であろうと考える。

意見 現在、一校一国運動が学校で進められているが、このようなオリンピック教育と通常の国際教育の差が今の姿では分からない。区長が東京2020大会の意義として平和を強調されているが、ならば、多様な価値観を持つ人々が共存できる社会をどうつくっていくかを児童生徒に考えさせることが大事だ。また一校一国運動も、東京2020大会後も息長く続くような相互交流、例えば交換留学生制度に発展させるなど、継続的な取組として位置づけて行うべきだと思う。

課長 一校一国運動を始めた長野に視察に行った際、数校ではあるが、大会後も交流を続けている学校があった。区も、ご提言のとおり、東京2020大会期間中の体験だけに終わらず、大会後も継続的な交流ができるような取り組みを検討していきたい。また学校だけではなく、地域としても、そのような継続的交流の取り組みを検討していきたい。

意見 日本は世界の中で最も高齢化が進んだ社会、超高齢化社会で、人口も今後減少していく。ならば、説明にあったような大型施設を東京2020大会後、建設するのにどれほど意味があるかわからない。それよりも、今ある中で、いかに豊かに暮らしていけるようにするかを考えるべきだ。例えば高齢者施設を新たに建設するというより、今の地域・住宅で引き続き住めるようにしたほうがいい。つまり、ハードよりソフトのあり方を検討していくべきだ。そのように日本でしかできない取組を世界に示し、広げていくことを東京2020大会を機に考えてほしい。

意見 選手村の東京2020大会後のイメージ図を見て、何だか陸の孤島化していないかと感じた。となると心配になるのが、災害時の対応である。避難場所は既存・新設の学校だけで足りるのか。オフィスも入るようだが、帰宅困難者を受け入れるホテルなどの施設はないようだし、本当に大丈夫かなと思った。

課長 開発街区では、伊勢湾台風級の台風が来て高潮になったとしても大丈夫なように約2.5m程度の盛り土をする。また、所管ではないが、区の高層ビルの防災対策は他自治体が先進事例とするほど先進的なものである。

意見 交通の便が悪いのはそのままなので、地域の介護施設が必要だと思う。

意見 高層住宅が建ち並ぶようだが、人々の交流のあり方が問題になる。それが安全なまちづくりにもつながると思う。私がロンドンに何回も行って感じたのは、公園が美しく快適で、地域の憩いの場になっていたことだ。イメージ図にも公園があるが、そのような公園づくりをして、地域の魅力としてほしい。

課長 ご指摘のとおり、安全なまちづくりのためにも、地域の方々同士が顔の見える関係づくりをしていくことが肝要だと思う。そのきっかけとして、防災があるのか、お祭りがあるのか、今後、公園整備も含め、まちづくりの検討の中で考えていきたい。

質問 イメージ図で示されている高層ビル群の建設は、中央区の予算・税金で賄われるのか。それとも民間に任せるのか。他区では民間に任せる開発事例が多いので、区もできるだけ税金を使わないでやってもらいたい。

課長 民間が開発を行うので区の税金は使わない。

質問 京橋にできる観光案内所は何階にできるのか。あまり人が行かない高層階に設けても意味がないと思うが。

課長 1階と地下1階にできる。ただし、1階はパンフレットを置くので、あまり広くはない。地下鉄の京橋駅からの動線を利用した地下1階がメインになる。

質問 混雑する道路を走るBRTで、本当に選手や観客を確実に輸送できるのか。

課長 選手はBRTではなくて、専用バスを利用し、基本的に高速道路（首都高）で搬送する。首都高も1車線はオリンピック専用にする予定である。ただし、観客の輸送については、リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技大会の交通渋滞の話などを聞くと、東京2020大会でのさらなる検討が必要であると思う。

質問 東京2020大会を契機にした国際教育と、区が東京2020大会の意義と強調する恒久平和のつながりがよく分からないので教えてほしい。恒久平和と言うならば、大会期間中だけの国際教育にはしてほしくない。

課長 一つには、オリンピック・パラリンピックは、「平和の祭典」でもあることから、平和を訴える必要があるが、さらに世界にはいろいろな人や文化があるこ

とを児童生徒が学び、この多様な人々・文化が共存できるようにするためにも「平和」が不可欠なのだと知ってもらいたい。また、世界では紛争やテロが今なお起きている中で、東京2020大会が開催されること自体、平和であるということも実感してもらいたいと考えている。先ほども申し上げたように、大会後にも国際交流が継続できるような取り組みを考えていきたい。

意見 2週間×2回しか使わない選手村を、これだけ大規模で多額の予算をかけて建築する必要があるのか。例えば横浜の山下埠頭に豪華客船を止め、そこを選手村に使うなど、もっといいアイデアがなぜ7年前に出されなかったのか疑問に思う。

質問 選手村跡地にできる街へ新たに1万2千人が来ると。そのうち外国人はどの程度になりそうか。

質問 1万2千人もの人口増加を受け入れる区としては、それに何のメリットを感じているのか。まちのにぎわい、税収増以外の点で何かあるのか。

課長 今回、選手村ができる土地は都の所有地で、計画自体は、都のものである。ちなみに2016年大会を招致していた段階では、巨大なメインスタジアムを建てる予定だった。今回、選手村計画が将来のまちづくりにつながる計画になり、都は地域や区の意見を聞きいれながら、水辺のプロムナードがあり緑も多い魅力あるまちづくりが大会レガシーとして残されていくものと思う。

意見 総合病院もできたらいいなと期待する。

広報課長 現在の東京都の医療体制には保健医療圏という考え方があって、中央区は千代田区・港区・文京区・台東区とともに区中央部医療圏に属している。この区中央部医療圏では現在、既に十分、病院があるとされているので、新規病院の開設はなかなか厳しい状況にある。

質問 BRTの路線はもう決まっているのか。

課長 平成31年度運行開始予定で現在検討中だが、ルートなどについては今後、発表される見込みだ。民間バス会社も入るので、事業性のある路線になるだろう。また、BRTの路線開設によって、都バスの路線再編なども検討されているようだ。

意見 確かに日本全体では高齢化が進んでいるが、こと中央区だけを見ると、新規人口の転入、特に若い世代の移住によって高齢化率はかなり低い。そういうことを前提に区は将来のまちづくりを考えているような気がした。その点で、本日、モニターの皆さんと区側で認識の違いがあったのかなと思った。

課長 本区の人口推計などを踏まえ、今後、さまざまな施策を検討してまいりたい。

— 了 —